



2024年1月30日

報道機関のみなさまへ

親子の面会交流を実現する全国ネットワーク
代表 武田 典久

法制審家族法制部会第37回会議を終えての所感

平素より弊会の活動にご理解を賜っておりますこと、御礼申し上げます。

さて、既に報道されていますように、2021年3月より開始された表記部会での調査審議も37回の会議を重ね、本日、取りまとめの審議が実施されました。

本日の第37回会議を受け、唯一、表記部会に参加した別居親当事者団体の代表としての個人所感を以下、取りまとめましたのでご参照下さい。

なお、昨今、共同親権導入に消極的な立場の声のみを取り上げ、一部、事実誤認の言説の流布がなされているとの印象を持っております。報道機関の皆さまには事実に基づく正確な報道及び共同親権に消極的な立場のみならず、積極的な立場の声も公平に取り上げていただきたく、お願いを申し上げます。

記

1. 本日の部会結果

①私は委員として賛成票を投じた

※家族法制の見直しに関する要綱案（修正案）（以下要綱案）及び附帯決議に関する本日の審議結果に関しては、法務省事務局に確認願います。

2. 所感

①要綱案に関して

・別居親当事者からは私たちの要望が実現できていないとの意見もあり、私としてもそのように考える項目もある。

◆私たちの要望が反映されなかった項目

-親向け講座が要綱案に入らなかったこと（中間試案第3-1）

-養育計画が要綱案に入らなかったこと（中間試案第3-2（1））など

・他方、要望が盛り込まれた項目もある。

◆私たちの要望が反映された項目

-共同親権の導入（要綱案第2）

-子の連れ去りを含む親権行使のルールが明文化されたこと

（要綱案第2-1、ア～ウの場合を除き、子の居所指定権の単独行使はできない）など

・部会には40名弱の様々な立場の有識者が参加し、2年10カ月及び調査審議がなされた経緯も踏まえ、部会として要綱案が多数の賛同を得る限界と考え、賛成票を投じることとした。



②今後について

今後、法制審総会で了承された後、与党プロセスなど議論は国会に移る。上記①記載の要綱案で反映できなかった要望に関しては、引き続き注視し、最後まで要望を届け続ける。

3. 事実誤認の言説の流布に関して

①「拙速な議論」にはあたらない

前述のとおり、法制審部会としては2年10カ月に渡り、会議が重ねられた。先行して検討された家族法研究会から起算すると約4年に渡る検討がなされたこととなる。法制審部会としては昨年2月のパブコメを参考に3巡目議論が行われ、昨年8月より要綱案たたき台の検討、本年1月の部会36回会議にて本日の取りまとめについて言及されたが、参加した委員・幹事からは異論は出ていない。つまり、大多数の委員・幹事は議論は尽くされたと取りまとめに賛同しているものと理解している。

②共同親権導入済の諸外国で共同親権から単独親権に戻した国は存在しない

よく「共同親権を見直した」と話題に上るオーストラリアでは、確かに2023年に家族法改正を実施したものの、50%:50%の推定則を廃止したなどに留まり（法制審部会参考資料34）、共同親権制度の骨格に変更はない。むしろ、豪政府自身が日本に対して共同親権制度の導入を勧めている。（シドニーモーニングヘラルド紙2023年3月23日記事）

③DVや児童虐待に関して

「DVを軽視している」等の指摘があるが、部会では「DV・虐待事案には適切に対応する」との前提のもと最も注力した検討項目のひとつである。複数回に渡る同居親、別居親を含めたDV被害者、支援者の参考人ヒアリングも実施し、今回の民法改正で必要な対応は議論された認識である。

例えば、「子の利益を害すると認められるときは父母の一方を親権者と定めなければならない」との基本的規律を定め、父母の力関係により共同親権が強要される事案などを念頭に、一定の要件のもと離婚の要件から親権者の定めがなされていることを除外したり、それでもなお強要されたケースに対応するため、親権者変更を申し立てやすくした（要綱案第2-2）。また、家裁の運用に関しては、法制審第13回部会において、細矢委員より現在のDV、虐待事案に対しての実情の報告がなされ（法制審第13回議事録29～32頁）、今後も対応を強化、継続していくことが確認された。

以上

親子の面会交流を実現する全国ネットワーク（略称：親子ネット）

〒150-0031 渋谷区桜丘町17-12 渋谷ジョンソンビル4F S100489

メール：info@oyakonet.org ホームページ：<http://oyakonet.org>

※2008年、離婚問題により子どもと会えなくなった親たちが設立。会員数726名（2024年9月時点、男性519名、女性207名）で別居親の当事者団体としては国内最大規模の団体です。